

つがる市総合文化祭

文化の祭典「第7回つがる市総合文化祭」が10月29、30日、11月12、13日の4日間、49団体が参加して市生涯学習交流センター「松の館」、木造中央公民館、稲垣交流センター、車力農民研修センターで開催されました。舞台部門では、手踊り、コーラス、レクリエーションダンスなど多彩なステージ発表が披露され、展示部門には、絵画、生け花、手工芸などが展示され、訪れた市民らの目を楽しませていました。



童謡「蕾の会」



つがる逍遙会



稲垣レクダンスサークル



日本詩吟学院学院風会木造教場



コーラス「華」



つがる宝生会



つがる秀宝会



山百合会



紬の会





稲垣会場のオープニングを飾る いなほ保育園児の遊戯



華丘レクダンスサークル



木造弥三郎踊り保存会



木造カラオケ教室



津軽名和会



木造詩吟・詩舞教室



藤瑩会



柏健康レクダンスサークル



車力京和会



柏文化サークル協会



浅草遠州一濤流



茶道遠州流中村社中



稲垣木版画サークル



鷹揚つがる会

穂波小創立10周年を祝う

創立10周年を迎える穂波小学校（松田和信校長）の記念式典が10月22日、同校体育館で行われ、全校児童と保護者ら約300人が節目の年を祝いました。

同校は、平成14年に柴田、菊川、下福原、越水、吹原、出来島の旧6校が統合して開校し、現在は177人の児童が在籍しています。

式典では実行委員長の大淵公輝さんが式辞を述べ、松田校長が「勉強と運動に励む爽やかな校風をさらに磨き上げていきたい」とあいさつ。全校児童が10年の歴史を振り返り「きょうのこの時を記念すべき第一歩として、新たな歴史を刻んでいきます」と喜びのこたばを発表しました。



創立10周年を祝い校歌を合唱する児童



絵本の読み聞かせを楽しむ参加者

読書の楽しさ触れる

地域における読書活動を推進しようと10月23日、松の館で「つがる市読書まつり」が開催され、親子連れら多くの市民が読書の楽しさに触れました。

読書まつりでは、はッピーすまいる、つがる野文庫の会、野花菖蒲の会、おはなしサークルおひさま、稲垣読書愛好会の会員の皆さんが絵本や紙芝居の読み聞かせや昔ばなしを披露。参加した児童たちは熱心に聞き入っていました。また、会場には本のリサイクルコーナーも設けられ、市民から寄せられた絵本などが多数並べられ、来場者はお気に入りの本を探し求めていました。

毎日お仕事ご苦労さま

勤労感謝の日を前に11月10日、木造西幼稚園（吉田節子理事長）の年長園児らが市役所を訪れ「毎日のお仕事ご苦労さまです。これからがんばってくださいね」と職員らに感謝の気持ちを伝えました。

この日は、年長組の園児7人が、朝の餅つき会でついたお餅とシクラメンの鉢植え、カレンダーを職員へプレゼントした後、歌を披露しました。園児からの“激励”を受け、佐藤副市長は「つきたてのお餅をありがとうございます。皆さんも先生の言うことをよく聞いて、毎日元気に過ごしてください」とお礼の言葉を述べ、プレゼントを手渡しました。



元気に声を掛ける園児たち



つがる夢庭を見学する参加者

農村景観や郷土料理を満喫

津軽カントリーランド協議会（荒谷政志会長）が主催する農村景観・観光モニターツアーが10月25日、柏地区で開催され、青森市などから約30人が参加しました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、一行は、桑寿園庭園、最勝寺庭園、日本最古のりんごの木、新堰水門などのコースを巡り、紅葉が彩る農村景観を鑑賞しました。昼には夢庭志仙会が運営する9月にオープンした農家レストラン「ありがとう」で、地元野菜を使ったひばたんぼ鍋、すしこ漬け、りんごジュースを練り込んだだしご餅などを味わい、郷土の味を満喫しました。参加者からは「あたたかいおもてなしに感激しました」との感想が寄せられました。



被災チームとソフトボールで交流

第27回つがるライオンズクラブ杯学童ソフトボール大会が10月15、16日、五所川原市つがる克雪ドームで行われ、白熱した試合が繰り広げられました。15日には、東日本大震災で被災した岩手県田野畑村の田野畑ニューウェーブの児童と向陽小が交流試合を行いました。これは、つがるライオンズクラブ（鈴木大樹会長）が、親交のあった陸中山田ライオンズクラブを通じて震災の影響で練習場が使えなくなった同チームを招待したもので、両チーム元気いっぱいプレー。結果は6対5で向陽小が勝利を収め、試合後はがっちりと握手を交わしました。

大会は、男子が瑞穂A、女子は嘉瀬が優勝に輝きました。



交流を深めた田野畑ニューウェーブと向陽小のメンバー



英語や異文化に親しむ児童たち

ハロウィーンで英語に親しむ

航空自衛隊車力分屯基地内で米軍車力通信所が英会話教室を開催し、富范小学校、車力小学校、牛湊小学校の児童が基礎英語やアメリカ文化について学んでいます。

10月27日は25人の児童がハロウィーンの仮装をして参加し、音楽に合わせて体の名前を英語で言ったり、アルファベットのカードをAからZまで順に並べたり英語に親しみました。また、1人ずつ「Trick or Treat！（お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ）」と言いながらドアをノックし先生からお菓子をもらい、本場のハロウィーンを体験しました。中村颯志君（車力小3年）は「教室に通うのがすごく楽しい。英語の意味がわかった時はうれしい」と話していました。

米粉で作ったアップルケーキ完成

地産地消と食の大切さを学んでもらおうと市食育推進応援隊が11月10日、米粉料理教室を松の館で開催し、参加した27人の市民が地元の米を使った米粉料理を学びました。

はじめに同隊の原田ひとみ代表が「これから冬休みに入る子どもたちを喜ばせるためにぜひ覚えて」とあいさつ。その後、市生活改善グループ連絡協議会の指導のもと、米粉を使ったアップルケーキとピザ、ゴボウのポタージュを作りました。アップルケーキはフライパンでこんがり焼いたリングに生地を流し込み、ふっくらと焼き上げて完成。試食した参加者は米粉の食感を味わい、出来栄に満足していました。



米粉ピザを作る参加者



協力して清掃活動に励む会員

シルバー人材センターが奉仕活動

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の一環として、市シルバー人材センター（山内清美理事長）の会員ら約60人が10月19日、市役所周辺の幹線道路の清掃奉仕活動を行いました。

清掃活動では、会員らがスコップや鎌を使い、道路脇や歩道の側溝にたまった土砂や枯葉などの除去や歩道の除草を行い、環境美化に努めました。

市役所周辺の道路はきれいになり、参加した男性会員は「清掃活動を通して、少しでも社会貢献できればうれしい」と話しました。